

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2025年5月1日 260号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

今大変なことは何？

レダの現場担当者に聞きました



【チャパボラ坂西さんより】 私たちが目指す理想に向けた道のりは、大きな転換点を迎えるようとしています。しかし、その理想の前に立ちふさがるように試練はやってきます。現在レダにおいても、いつも以上に多くの困難を抱えています。人手と資金の減少、度重なる機械類の不具合に、天候の悪化による被害など、今までにないくらい難しい局面を迎えています。

「人手が足りない」

●長山心さん チャパボラ 内務

食材の仕分けや肉の解体などの時に人手が少ないので大変です。毎週購入した食材の重量を測り、また食品の状態を一つ一つ確認して状態の悪いものを選び分けし、必要に応じて傷んだ部分を切り落としします。他にも腐りにくくするための作業があり、これらの作業を人が少ないときは3人でしており、2時間くらいかけてしています。またレタイの豚やカナン牧場の牛の解体を従業員と一緒にを行います。半日くらいかけて約150kgの肉を解体して仕分けています。

他にも、最近では天候が安定しないので、食品の発注のタイミングが難しくなったり、買いに行ったトラックが戻ってこれず、食材が届かなくなったりして大変です。

●佐藤怜佳さん チャパボラ 養豚
「公職者が居て欲しい」
日陽園では朝の訓読の後、その訓読した内容を中心に岩澤園長が語ってくださるのですが、岩澤園長が不在の期間はそれがなく、

また公的にみ言葉を聞ける機会もほとんどなくなりそうです。そのような公的な内容を指導できる人がもっと増えたらいいなと思います。

また日陽園には様々な世代の人がいますが、そういった人たちの心晴面をケアできる人が居るといいなと思います。欲を言えばスペイン語ができる人がもっと増えて欲しいです。



大雨と強風でなぎ倒されたパパイヤの木。4月5日

●大元勘治さん 農業

「激しい雨風による農作物への被害」
最近の大雨と風の影響で、30本くらいあったパパイヤの木が全部倒されてしまいました。畑に水がたまり、地盤が緩み倒れやすくなっていたのが要因です。他にも1000株くらいあったニンニクの根が雨で腐り、半分くらい減ってしまいました。すごいショックを受けたのですが、そのままにしてはけません。倒れた

パパイヤの木は1〜2mくらい残して切って、再度植えます。また枝葉が出てくればいいのですが、出てこなかったら、残念ながら失敗ということになります。また排水溝が十分機能しなかったのも、また作り直します。

●川久保安史さん 水産 労務管理

「従業員の送迎手段がない」

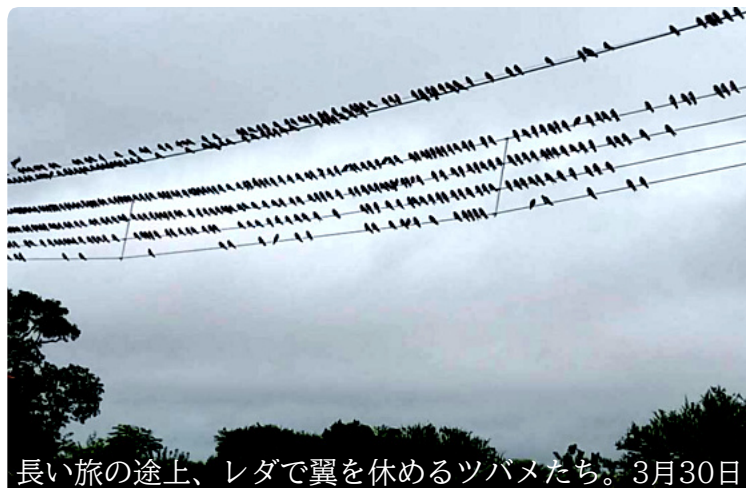
現地の従業員は近隣の村から日陽園に来て、2〜4週間ほど滞在しながら働きます。これを回転させるためには、彼らに連絡を取り、各プロジェクトに随時必要な人手が揃うようにしながら労務管理をしています。

現在彼らを送迎するボートのモーターの調子が悪く、送迎できないことがあります。そのせいで従業員を呼べなかったり、彼らが家に帰ることができないという状況があります。

日陽園の作業が思うように進まず、困難をきたすのはもちろんですが、雨の影響で道が封鎖され、物流が難しい状況なので、そんな中でさらに従業員の働く機会を減らしてしまうのは申し訳なく思っています。

最近、政府の対策で、パラグアイ川で運航されている海軍の船などを利用して、上手く労務管理をしながら、日陽園の責任を果たしていきたいです。（次面につづく）

QRコードは動画です。
PDF版ではタップ（クリック）でご覧になれます。



長い旅の途上、レダで翼を休めるツバメたち。3月30日



鏡面のようなパラグアイ川。ボートは滑空するが如く、



●パクーを干物にします。美味しくなりそう。



●パクーをきれいに開きました。4月2日



●滝川家庭第一子誕生を祝して。

「仕事を代わられる人がいない」
普段は水作りと電気関係の仕事をしてい
ますが、今この仕
事を代わりにできる人がいな
い状況です。日本への一時帰国
などで日陽園から一時的に離
れることになる場合は、誰かに
それを任せる必要があります。
水作りは一応1ヶ月くらい
引継ぎの時間が取れば問題
ないのですが、電気関係の仕



●山崎茂章さん 電気 水作り

事とは多岐にわたるのでそうも
いきません。なので、私が日陽
園を離れていても、そういった
仕事を代わりに出来る人材が
欲しいです。

★今回は色々な人に話を聞き
ましたが、他にも大小様々な
問題を抱えています。不安定
な状況であり、なかなか理解
され難い環境ではありますが、
それでも理想を掲げて立ち止
まることなく前を向いて進ん
でいます。(チャパボラ坂西記)

滞在期間
が1年未
満のボラン
ティアの方
がほとん
どで、その
たびにまた
一から教
えないとい
けません。

プロジェクト(事業)を進める
上で、一人一人がいかにプロ意
識を持てるかどうかがとても
重要になります。私自身も含
め、まだまだ未熟な部分を全
体で底上げをしていく必要が
ありますが、どうすればいいか
模索中です。



日本人
に関して
も、レダ
滞在期間
が1年未
満のボラン
ティアの方
がほとん
どで、その
たびにまた
一から教
えないとい
けません。

皮を剥いてない状態のヤシの
実で試したら芽が出ると思
うのですが、これがどこを探
しても売っていません。でも最近、
アスンシオンの教会にココヤシ
の木があることが分かったので、
次に実がなった時に購入し、
試そうと思っています。

「人を育てる難しさ」
養殖や販売などを進める上
で、個々人の技術や意識の向
上が必要になってくるのです
が、そのための教育が難しい
です。現地の従業員は基本的
によく働きますが、言語、文化
の壁、そして一番は仕事に対
する責任意識のすれ違いを感
じます。

●滝川哲盤さん 水産

「ココヤシ栽培の挑戦」
今、ココヤシを
育てられないか
試しています。む
き身のヤシの実
(ココナツ)を植
えて芽が出るのを待っています
が、なかなか出てきません。す
でに4、5回くらい挑戦してい
ますが、難しいです。
ヤシの苗木を買って育てるこ
ともできますが、ヤシの実に比
べて10倍くらいの値段がしま
す。ココヤシをレダの主力産業
にしようと考えたら、あまりに
も高いです。

「人を育てる難しさ」
養殖や販売などを進める上
で、個々人の技術や意識の向
上が必要になってくるのです
が、そのための教育が難しい
です。現地の従業員は基本的
によく働きますが、言語、文化
の壁、そして一番は仕事に対
する責任意識のすれ違いを感
じます。

●水落勝さん 大工 養豚

「人を育てる難しさ」
養殖や販売などを進める上
で、個々人の技術や意識の向
上が必要になってくるのです
が、そのための教育が難しい
です。現地の従業員は基本的
によく働きますが、言語、文化
の壁、そして一番は仕事に対
する責任意識のすれ違いを感
じます。



「人を育てる難しさ」
養殖や販売などを進める上
で、個々人の技術や意識の向
上が必要になってくるのです
が、そのための教育が難しい
です。現地の従業員は基本的
によく働きますが、言語、文化
の壁、そして一番は仕事に対
する責任意識のすれ違いを感
じます。



●島田家の皆様、おめでとうございます。3月24日



●この季節のレダの空と積雲です。急な風雨には要注意。



●青葉台青年部の記念樹アセロラの実



●近隣のブラジル人からの贈り物。3月20日



●パパイアの未熟果を酢の物にします。

3月30日



●よく通るトロパンパの村。3月23日



●トロパンパに向かう道路。4月12日



●陸路が断たれた養豚場へボートを。



●強風で倒されたラパーチョ。大木でも根は浅い。3月27日



●倒れたパパイアの木を切って再び植えました。4月5日



ミナミカラカラ

●野の掃除屋さんです。



●川岸道路の崩落。あなたならどんな対策を？ 3月24日



●ある開拓者の手。4月8日



鳥の楽園



オニオオハシ 4月1日



サバンナノスリ 4月10日

私が最初にレダに来た時、強く印象に残っていることのひとつに、鳥の鳴き声がとても多かったということがあります。でもそのほとんどがオキナインコか、クロムクドリモドキ、又はコウカンチョウの声だったと思います。これらの鳥は一年を通して、とても沢山います。他にも色んな鳥を見かけはするのですが、ある時期に沢山見かけても、1ヶ月もすると姿を見かけなくなることがほとんどです。

そんな中、くちばしが特徴的なオニオオハシを見かけました。レダに来て初めて見たので、写真に収めたのですが、このところ朝食を終えた時間帯に毎日、2〜3羽見かけるようになりました。他にも、ミナミカラカラやサバンナノスリという比較的大型の鳥も見かけるようになりましたので写真に撮りました。

日本では人が鳥に近づくと直ぐに飛んで行ってしまうのですが、レダでは結構近くまで近づくことができます。それは、レダに住む人々が鳥をはじめとした動物や自然をずっと愛してきたからなのだと思います。さすがに触れることまではできませんが、ここでは野生の動物が全てペットのようなものだなと感じました。(山崎茂章)

大切なお知らせ

●パンタナール通信は、2003年の創刊以来、「紙面版」を会員の皆様に郵送でお届けしてまいりました。本年(2025年)より紙面版に代えて、「動画版・PDF版」への移行を進めてまいります。

これにより、情報発信力をいっそう高めながら、発送費を削減することで他の活動の強化を図ります。以下の手順に従って切り替えをお願いします。

●【動画版+PDF版】への切り替えを希望される方は、LINEまたはメールで

編集者のひと言

▼レダの現場で歩む方々は、それぞれ大変なミッションに責任を持っています。そして読者の皆様に伝えたい思いがあります。▼坂西さんは、自身も忙しい中、レダの一人ひとりに取材し、その率直で切実な思いを送ってくれました。レダで奮闘する方々にエールを送りましょう。▼文字数が多くなったので、一面の造りが変わりました。



ショート動画



- 1 ウシタイランチョウ
2025年3月
- 2 倒伏したパパイア
2025年4月5日
- 3 サバンナノスリ飛翔
2025年4月10日
- 4 大雨の日
2025年4月12日

1



2



3



4



パンタナール通信 ブログ版



パンタナール通信

パンタナール通信は当会の会報です。毎月、紙面版・PDF版・動画版を発行しておりますが、新しくブログ版ができました。(動画版はブログ版の中に収容されます。) 右のQRコードからアクセスしてください。



感想をお寄せください

<https://asd-nsa.com/kf/>



本紙記事へのご感想、ご意見、ご提案などを送りください。ご感想は本紙に掲載させていただくことがあります。

LINE公式アカウント

レダの日常・日本の非日常

レダ現地の様子、プログラム・イベント告知・参加者募集案内などを配信します。



友だち追加はこちらから！

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021

東京都調布市調布ヶ丘
2-15-1 ビリアベルデ 407

電話: 042-449-0183

支援金振込口座: ゆうちょ銀行
記号10280 番号6 1 349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com
ホームページ: <https://asd-nsa.com>

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書
<https://asd-nsa.com/sk/>